

**兵庫医科大学病院**〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
TEL.0798-45-6111(大代表)
<http://www.hosp.hyo-med.ac.jp>

新センター長ご挨拶

地域医療・総合相談センター長 中野孝司



5月1日より地域医療・総合相談センター長を拝命致しました呼吸器内科の中野です。当センターは平成18年1月に設置され、初代センター長には難波光義教授が、続いて増山理教授がセンター長に就いて、地域の諸先生方との診療連携を推進して参りました。当センターの任務は、私どもの大学病院本院に課せられた特定機能病院の役割である高度先進医療・急性期医療を、適切に、滞りなく提供できるように調整し、最も信頼できる地域医療の拠り所として、病院の機能を地域に十二分に反映させることにあります。紹介・逆紹介の支援業務に限らず、セカンド・オピニオンの調整、患者・家族の医療相談、福祉相談など、多面的な診療支援を行います。また本院は、多くの領域のがん専門医が診療・研究を行う“がん診療連携拠点病院”でもあります。内科系13講座、外科系16講座がそれぞれの専門領域を担当し、合併症を有する場合でも、殆ど全ての悪性腫瘍の治療を安心して受けて戴けます。当センターは本院と地域医療機関や患者さんをつなぐ窓口であり、ぜひ御活用頂ければ幸いです。

本院は平成25年6月には急性医療総合センターを開設し、高度急性期医療の診療体制を拡充致します。診療連携を通じて、特定機能病院、がん診療連携拠点病院の役割をより一層果たして参りたいと存じます。何卒、宜しくお願い申し上げます。

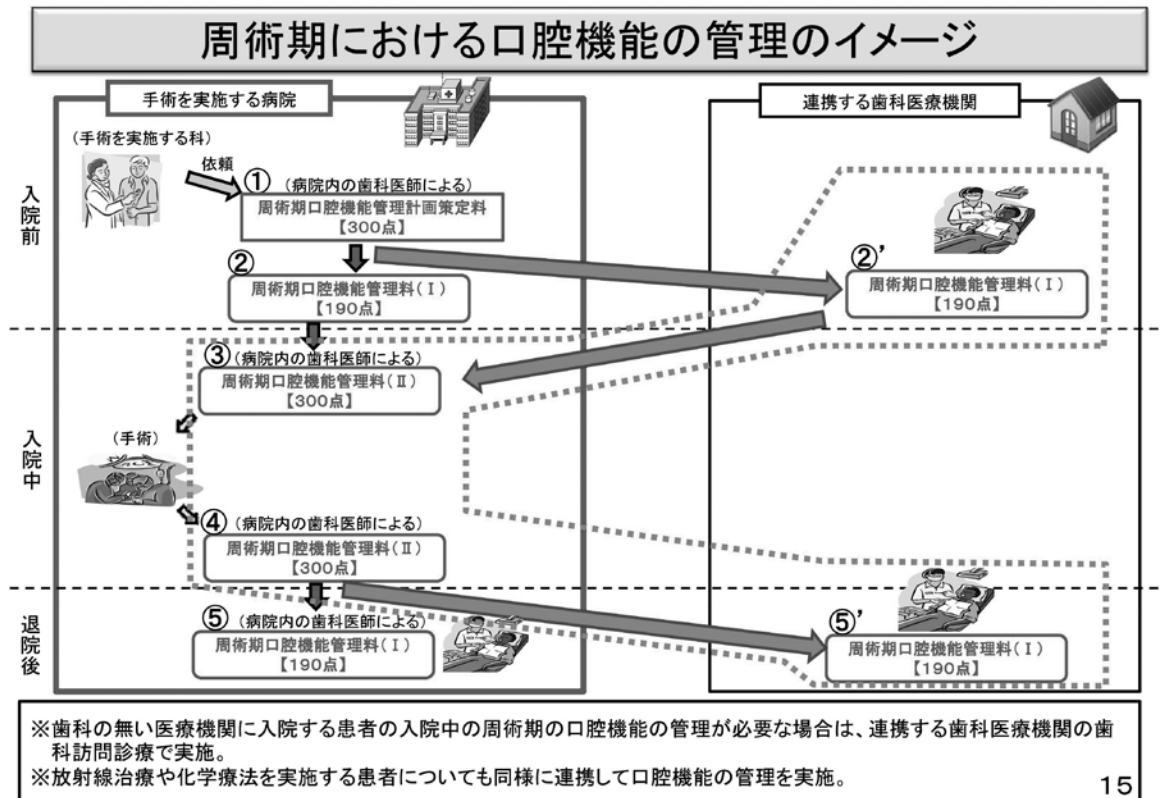
「周術期口腔機能管理」が新設！

歯科口腔外科 准教授 岸本裕充

本年4月からの平成24年度診療報酬改定で、「周術期口腔機能管理」が新設されました。頭頸部・消化器がん、心臓血管外科等の全身麻酔での手術を受ける患者に対し、術前には口腔清掃（必要なら歯科治療も）、それに加え術後には咀嚼や嚥下などの口腔機能の向上を図り、経口摂取につなげます。これによって、誤嚥性肺炎等の合併症を予防し、回復を促すことによって在院日数の短縮やQOLの向上を期待するものです。手術だけではなく、口腔領域に障害を生じる放射線治療やがん化学療法を受ける患者も管理の対象となります。

歯科を併設しない病院では、他の医療機関（歯科）に患者を紹介し、口腔機能の管理計画の策定を依頼することができます。管理計画を策定した歯科でそのまま周術期の管理に移行する場合もありますが、可能であれば患者の「かかりつけ歯科」へ紹介し、そこでの管理が望ましいと考えています。

この医科歯科連携は当科が他施設に先駆けて取り組んできたもので、院内の関連科と限定的にですが実施し、成果を上げてきました。この新たな仕組みを地域でも成功させるためには、本院に限らず病院内における医科と歯科、また病院の歯科と地域歯科の間の緊密な連携が不可欠です。特に、どのような患者を口腔機能管理の対象とすべきか、また歯科側の受け入れ体制の確立などに関する調整が急務です。今後そのための研修会などを企画いたしますので、医科・歯科ともに地域の医療職の皆さまはぜひご参加ください。



内分泌・代謝科診療トピックス紹介

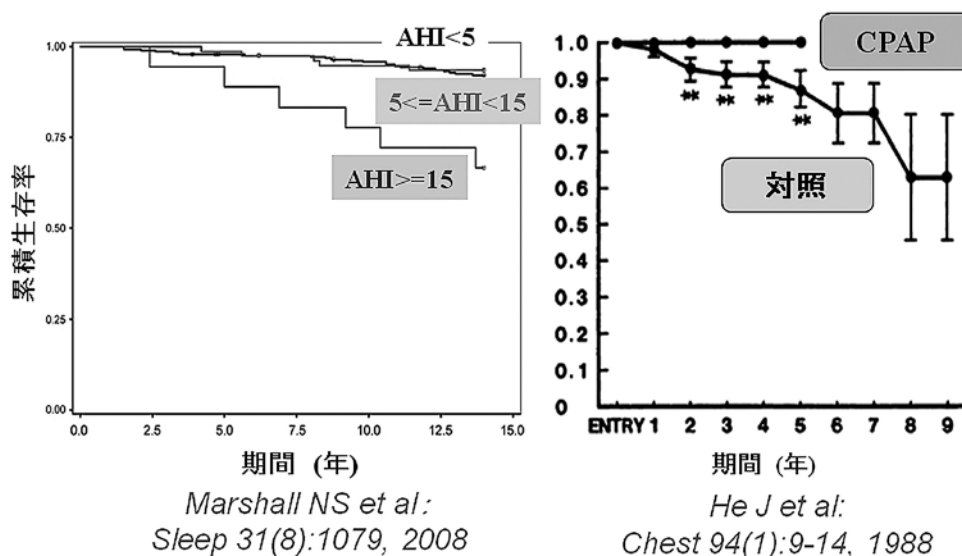
◆ 睡眠時無呼吸症候群を中心とした動脈硬化リスク評価 ◆

平素より内科 内分泌・代謝科の診療にご支援・ご協力を賜りありがとうございます。

睡眠時無呼吸症候群 (sleep apnea syndrome; SAS) は、夜間に気道の閉塞により無呼吸、低呼吸が引き起こされる疾患です。中枢性 (呼吸中枢の障害) と閉塞性がありますが、臨床的に問題になるのはほとんどが閉塞性で、obstructive sleep apnea syndrome (OSAS) とも呼ばれます。重症例では無呼吸が 2 分以上続き、酸素飽和度が 60% 程度まで下がる場合もあります。また、結果として睡眠が分断化され、睡眠障害、昼間の眠気などを引き起こすことになります。特に肥満、メタボリックシンドロームの患者さんは併発しやすいとされています。

SAS の重症度は、無呼吸・低呼吸指数 (apnea hypopnea index; AHI) で評価します。AHI が 5 未満を正常と判断します。私たちが SAS を疑う明らかな症状のない患者さんを対象に、ランダムに SAS のスクリーニングをした結果、正常は 108 名 / 227 名 (47.6%) にすぎませんでした。死亡率が高いとされている $AHI \geq 15$ の患者さんは 51 名 / 227 名と、22.5% に認められました。また BMI が 25 未満の非肥満患者でも 17 名 / 134 名と 12.7% が $AHI \geq 15$ 以上を示したことに注目する必要がある、必ずしも肥満がなくても SAS が隠れている症例が多いことが分かります。またこの間 CPAP 治療を始めた患者さんは 22 名に及びます。

このような結果をもとに、私たちは SAS のスクリーニング検査を広く受け入れる体制を整えました。また、患者さんの希望に応じて、SAS に関連する夜間高血圧や夜間の交感神経活性化、動脈硬化の評価なども実施させていただきます。SAS は心筋梗塞・脳梗塞などの動脈硬化性疾患の引き金になることが知られています。動脈硬化ハイリスク患者さんをスクリーニングする一環として、先生方に積極的ご活用いただければ幸いです。



第4回 兵庫医科大学病院連携の会 開催報告

平成24年2月21日(金)17時よりノボテル甲子園において平成23年度学校法人兵庫医科大学連携病院の会が開催されました。

この会は平成21年6月に大学と連携病院が人事の交流等により相互の活性化を促進し組織的な連携を強めること、大学と連携病院に在籍する医師の臨床教育・研修・研究及び診療技術の向上を図ること、効率的で有効な学生教育に資することや地域医療の向上に寄与すること等を目的として設置され現在、121の病院さまにご入会いただいております。今回のテーマは「平成24年度診療報酬改正を考える」とし田辺三菱製薬株式会社谷澤正明氏より「平成24年度診療報酬改定の概要」、当法人理事であり東京医科歯科大学



元病院長である西岡清氏より「DPCをどう使う」の講演をいただきました。

50病院114名の方にご出席いただきました。また、引続き開催の意見交換会にも大勢の参加をいただき、各病院間での活発な意見交換が行われ、お互いの連帯感を深めることができました。

「看護の日」記念行事を開催しました

平成24年5月11日(金)「看護の日」の記念行事として、「ふれあい看護体験」と記念コンサートとして琴の演奏会を行いました。

「ふれあい看護体験」では、一般応募の中から2名の方が参加し、病棟で患者さんへの配膳など看護体験を行いました。

記念コンサートでは1号館1階ロビーに入院患者さんはじめ外来の患者さんも多く集まり、琴の澄んだ音色に聞き入っていました。

